

水田たより 4月号

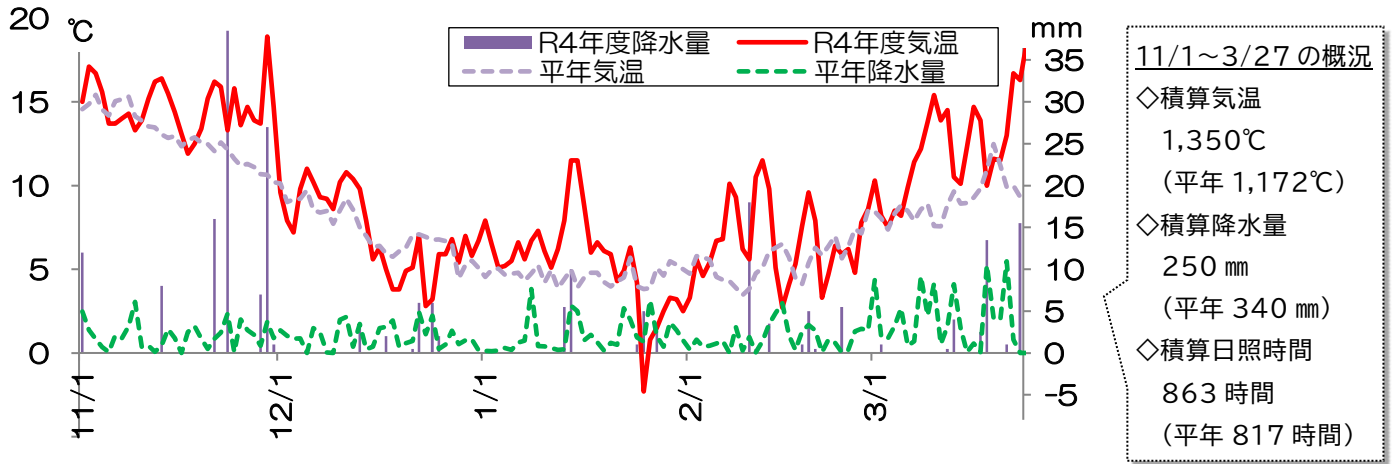
令和5年4月3日

JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

麦類 気象概況(3月27日時点)

麦類生育期間中の気象は、晴れの日が平年と比較してとても多く、気温も高めに推移しています。



麦類 麦類生育基準田の生育状況(3月20日調査)

品種	播種日	令和5年産(3カ年平均)			幼穂長(cm)
		草丈(cm)	莖数(本/m ²)	葉齢(枚)	
小麦「さとのそら」	11月10日	42(48)	643(909)	11.8(11.8)	3.0(1.4)
小麦「あやひかり」	11月4日	61(52)	583(754)	9.1(9.5)	3.0(2.1)
大麦「ファイバースノウ」	11月4日	36(37)	588(868)	10.8(10.5)	2.0(1.3)

生育期間中の気温が高く推移したことにより、3カ年平均と比較して幼穂の生長が早くなっています。

令和3年産「さとのそら」、「あやひかり」も3月中旬に幼穂長が3cmで、出穂期は3月末~4月初旬と早い生育となっていました。

これから赤かび病防除の時期を迎えますが、下記のことを行い、防除できるよう準備を進めましょう。

◇こまめにほ場観察をしましょう！

昨年より出穂期が早まり、**例年より赤かび病防除時期が早まります**。

出穂期(※)から約7~10日後の開花始期~開花期に赤かび病の予防防除を実施しましょう。

麦類の出穂期や防除時期の詳細は、R5年3月の号外をご確認ください



※出穂期について

3月27日に管内を巡回したところ、
11月上旬に播種された**ほ場内部で小麦の出穂**が確認されました。
畦畔沿いは道路からのふく射熱の影響で出穂が早まります。

ほ場全体のうち40~50%が出穂したら「出穂期」となります。

水稻

移植前・移植時のいもち病対策

移植前後の作業が収量にまで大きな影響を与えます。この時期に対策が不十分だと、病気などが本田内で蔓延する可能性があります。

特にいもち病は、「苗いもち」「葉いもち」「穂いもち」と被害が進行し、減収要因となります。昨年作では、管内の一部地域でいもち病が発生し、大きな被害を受けました。

今の時期からできる下記のいもち病対策を実施し、増収を目指しましょう。

①箱施用剤での防除

必ずいもち病に効果のある箱施用剤を散布しましょう。

②置き苗の早期除去

置き苗は、移植後1～2週間後までに除去しましょう。

置き苗内でいもち病の菌が蔓延し、本田に二次感染する恐れがあります。



放置され、伸びた置き苗

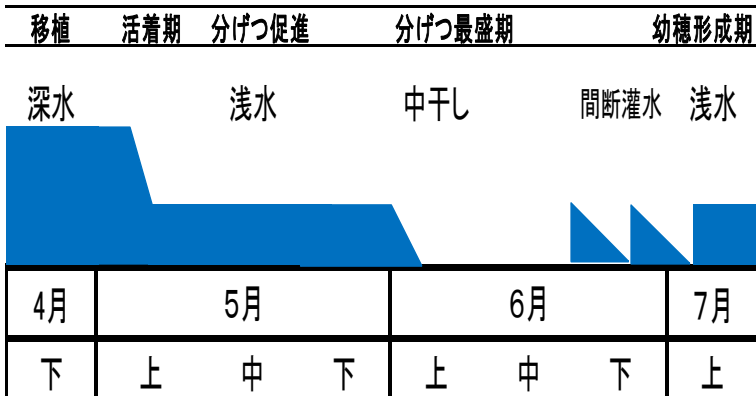
水稻

移植後の水管理について

水位が苗よりも高いと、苗が呼吸できなくなり傷んでしまい、水位が低すぎると、田面が乾き雑草が発生してしまいます。移植前のこの時期に圃場の均平を整えるとともに、初期の水管理について留めなおしましょう。

水管理の基本

4月下旬移植の場合



◇移植後から活着期まで・・・**深水**

- ・移植直後は、風による水分の損失を防ぎ、除草剤の効果を保つため水深 **5～6cm** とします。
- ・気温が低い時は、日中は水深 **3～4cm** の浅水、夜間は水深 **5～6cm** の深水とします。

◇活着期から分けつ期最盛期まで・・・**浅水**

- ・水温を上げて分けつを促すため、水深 **3cm** 程度の浅水で管理します。

・深水は、葉先が水面から出ていれば問題ありません。

水稻

ジャンボタニシ対策

今後の気温について、平年より高く推移すると見込まれます(名古屋地方気象台、R5.3.23 発表)。

ジャンボタニシは、**水温が17℃**(平年は5月上旬)に達したころから活動を開始します。そのため、今年度は活動時期が早くなると予想され、移植が早い品種でも食害を受ける可能性があります。移植後～30日の若い稲は食害を受けやすく、**特に生育が確保できていない移植直後は最も警戒が必要**です。

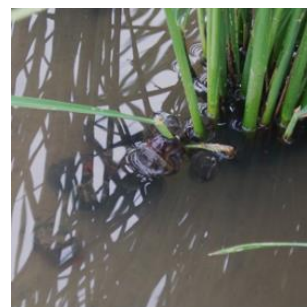
そこで、下記のジャンボタニシ対策を行いましょう。昨年にジャンボタニシの卵が確認されたほ場では、本年も発生する可能性が高いので注意深く観察してください。

①薬剤による防除

発生が多いほ場では薬剤による防除を行いましょう。薬剤散布は湛水状態(3～5cm)を保ち、1週間は圃場外に落水しないよう注意してください。

②浅水管理

活着後(移植7日後)**水深3cm以下**の浅水管理をおこないましょう。



置き苗の株元に集まって食害するジャンボタニシ



友だち
募集中

桑名普及センターのLINE公式アカウントを友だち追加していただくと、毎月あなたのスマホに情報をお届けします！

その他、チャット機能を使ってご質問なども受け付けています

過去の水田たよりはこちら



桑名普及

検索